

第12回理事会議事録(要旨)

1 日時 令和8年2月6日(金) 自 午後1時00分
至 午後3時50分

1 場所 日本大学会館901会議室

1 出席者

(理事)	林	真理子	大	貫	進一郎
	ソコロワ	山下 聖美	小	堂	俊 孝
	兼 板	佳 孝	篠	塚	力
	大 熊	智 之	澤	野	利 章
	永 沼	淳 子	林		宏 行
	三 村	淳 一	飯	塚	和 一 郎
	友 近	英 展	中	園	健 二
	今 泉	祐 子	上	條	由 美
	木 村	順 平 (書面による決議参加)	浅	井	万 富
	伊 藤	ゆみ子	鬼	頭	宏 子
	島 本	武 彦	平	沢	郁 子
	渡 辺	美 代 子			
(監事)	山 本	寛	小	林	清
	山 本	剛 史	奈	尾	光 浩

1 欠席者 高 戸 毅

報 告 ・ 連 絡

1 第11回理事会議事録(案)報告の件

議長から、第11回理事会議事録(案)報告の件について報告があった。

2 次期学長選出関連日程等について(学長選出管理委員会)

総務部長から、報告資料2に基づき、次期学長選出関連日程等について報告があった。

3 令和7年度学校法人日本大学に対する関連当事者に関する確認について

財務部長から、報告資料3に基づき、令和7年度決算書の作成に当たり、文部科学省の通知に基づき、役員及び近親者と本学との間に取引がある場合には、関連当事者との取引に該当し、金額等において重要性が認められる際

は、決算書に注記する必要があるため、確認を行うことについて報告があった。

4 卒業式当日における新聞広告企画について

広報部長から、報告資料4に基づき、令和8年3月25日の卒業式当日に卒業・卒園する学生、生徒、児童、園児に向けお祝いのメッセージを送るとともに、一般の方へは本学のスケールを感じていただく機会とするための新聞広告企画について報告があった。

(報告に対する主な意見)

意見：今後、新聞広告を企画する際には、地方の学部等も存在することから地方紙も検討いただきたい。

5 ラジオ番組『日曜大学 supported by 日本大学』における番組リスナー調査について

広報部長から、報告資料5に基づき、令和7年度日本大学ブランド価値向上企画の一つとして、令和7年10月5日より、毎週日曜日に放送している「日曜大学」の番組リスナー調査結果について報告があった。

6 公益通報及び人権相談に係る受付窓口の運用変更について

コンプライアンス事務局長から、報告資料6に基づき、令和8年4月以降の受付窓口体制について検討の結果、担当職員の安全衛生を考慮し、学内受付窓口における通報者及び相談者への対応についても弁護士に委任することとし、職員は事務処理業務のみを行うこと、また、持続可能な運営を維持するために、受付窓口の運用も変更することについて報告があった。

(報告に対する主な質疑応答及び意見)

非公表とする。

7 業務執行理事定期報告について

理事長及び学長から、報告資料7に基づき、業務の執行状況について報告があった。

8 学校法人日本大学寄附行為変更認可について

総務部長から、報告資料8に基づき、松戸歯学部附属歯科衛生専門学校 歯科衛生専門課程廃止に伴う寄附行為変更認可の通知を受理したことについて報告があった。

9 危機管理委員会における事案報告について

総務部長から、報告資料9に基づき、令和8年1月に開催した危機管理委員会における事案について報告があった。

10 令和7年度12月末付属病院収支状況について

担当業務執行理事から、報告資料10に基づき、令和7年12月末時点の付属病院の収支状況について報告があった。

(報告に対する主な意見)

意見：高額な医療機器の購入に当たっては、将来の財務状況等の観点等も加えることでより多角的な判断ができるものと思料する。

11 令和8年度事業計画案(令和8年2月3日現在)について

総合企画室長から、報告資料11に基づき、日本大学中期計画の実現に向けて、法人(本部)及び各部科校が令和8年度に特に注力する事業計画を取りまとめた「令和8年度事業計画案」の途中経過の報告があった。

なお、3月6日開催の理事会において令和8年度事業計画案をお諮りし、評議員会への諮問を経て、理事会の最終承認後に、本学ホームページ上で公表する予定である。

12 日本大学競技部の競技結果(12月～1月)について

競技スポーツセンター事務局長から、報告資料12に基づき、令和7年12月から令和8年1月までの競技結果について報告があった。

13 ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピック・パラリンピックの本学関係者(1月23日時点)について

競技スポーツセンター事務局長から、報告資料13に基づき、イタリアのミラノ及びコルティナ・ダンペッツォにおいて開催される第25回オリンピック冬季競技大会(2月6日～22日)及び第14回パラリンピック冬

季競技大会（3月6日～15日）に参加する本学関係者（1月23日現在）について報告があった。

議 事

- 1 令和8年度本部諸会議日程(総務課関係会議)に関する件
総務部長から、資料1に基づき、本部諸会議日程(総務課関係会議)について説明があり、審議の結果、全会一致で原案どおり決定した。(反対者なし)
- 2 日本大学経理規程及び日本大学収益事業経理規程の一部改正に関する件
総務部長から、資料2に基づき、私立学校法改正に伴う学校法人会計基準の改正により、当該規程を変更することについて説明があり、審議の結果、全会一致で原案どおり決定した。(反対者なし)
- 3 奨学金給付規程の制定及び一部改正に関する件(芸術学部及び松戸歯学部)
総務部長から、資料3に基づき、芸術学部については、受給資格を明確化するとともに、委員会の構成員を実態に即した構成に改める。②松戸歯学部については、直近2年度において入学定員の未充足が発生したことから、日本大学松戸歯学部を第一志望とし、早期に入学意思を示す受験生向けの新たな奨学金制度を創設するため、松戸歯学部特別奨学金給付規程を制定すること。また、成績優秀者向けの高額給付型奨学金を導入することにより、優秀な学生の確保と歯科医師国家試験合格率の向上を図るため、日本大学松戸歯学部鈴木奨学金給付規程を改めることについて説明があり、審議の結果、全会一致で原案どおり決定した。(反対者なし)
- 4 付属学校長等任命に関する件(東北高等学校, 明誠高等学校, 山形高等学校, 歯学部附属歯科技工専門学校)
人事部長から、資料4に基づき、付属学校長等任命について説明があり、審議の結果、全会一致で原案どおり決定した。(反対者なし)
(議事に対する主な意見)
意見：各高等学校は入学試験実施期間となっているため、手続上の問題がなければ、公表のタイミングは配慮すべきである。

5 定年延長に関する件

人事部長から、資料5に基づき、日本大学教職員就業規則第29条に基づき、教員の定年延長について説明があり、審議の結果、全会一致で原案どおり決定した。(反対者なし)

6 令和8年度教職員給与の定期昇給に関する件

人事部長から、資料6に基づき、日本大学教職員給与規程及び同施行細則に基づき、令和8年度の専任教職員に係る定期昇給の実施方針について説明があり、審議の結果、全会一致で原案どおり決定した。(反対者なし)

7 令和8年度病院限定職員給与の定期昇給に関する件

人事部長から、資料7に基づき、病院限定職員給与規程及び同施行細則に基づき、令和8年度の病院限定職員に係る定期昇給の実施方針について説明があり、審議の結果、全会一致で原案どおり決定した。(反対者なし)

8 専任教職員向けAI Pro for Educationの導入並びにGoogle Workspace for Education Plusライセンスの追加購入に関する件(本部)

管財部長から、資料8に基づき、全専任教職員が高性能AIを十分に活用できる環境を本部負担で整備するため、専任教職員向けAI Pro for Educationの導入並びにGoogle Workspace for Education Plusライセンスの追加購入について説明があり、審議の結果、全会一致で原案どおり決定した。(反対者なし)

9 千葉(野栄)校地の譲渡(売却)に関する件(豊山高等学校・豊山女子高等学校)

管財部長から、資料9に基づき、現在未利用地の当該地について、維持管理を行うことを条件に賃貸している業者から購入希望があり、売却価額が合意したため、譲渡(売却)について説明があり、審議の結果、全会一致で原案どおり決定した。(反対者なし)

10 ラジオ番組『日曜大学 supported by 日本大学』の次年度における継続に関する件

広報部長から、資料10に基づき、令和7年度日本大学ブランド価値向

上企画の一つとして、令和7年10月5日より、毎週日曜日に放送している「日曜大学」の次年度における番組継続について説明があり、審議の結果、全会一致で原案どおり決定した。(反対者なし)

11 学長候補者推薦委員会委員(法人)に関する件

総務部長から、資料11に基づき、日本大学学長選出規則に基づき、法人から選出する委員について説明があり、審議の結果、全会一致で原案どおり決定した。(反対者なし)

12 日本大学三軒茶屋キャンパス教育組織の見直し方針に関する件

総務部長から、資料12に基づき、三軒茶屋キャンパスの教育組織の見直し方針について説明があり、審議の結果、全会一致で原案どおり決定した。(反対者なし)

13 IT管理の組織体制に関する課題への対応に関する件

総務部長から、資料13に基づき、IT管理の組織体制に関する課題への対応について説明があり、審議の結果、全会一致で原案どおり決定した。(反対者なし)

(議事に対する主な質疑応答及び意見)

意見：方向性自体は評価できるが、サイバーリスクから大学の重要資産を守るという防御及びガバナンスの視点をミッションステートメントに加えるとより良いと思料する。

14 日本大学学則(総則等, 教育課程)の一部変更(危機管理学部, スポーツ科学部, 理工学研究科, 生産工学研究科)に関する件

学務部長から、資料14に基づき、令和8年度からの学則変更について、総則においては、学校教育法等の改正により専門課程が「特定専門課程」と改められることに伴い、編入学資格の改正及び大学院入学資格の追記を行うこと、あわせて、休学期間を修業年限に算入しない旨の明記や、休学・留学期間に係る文言を「修業年限」や「在学年限」に統一する等の規定の整理を行うほか、附則及び教育課程等の変更を行うことについて説明があり、審議の結果、全会一致で原案どおり決定した。(反対者なし)

15 日本大学短期大学部学則(総則等)の一部変更に関する件

学務部長から、資料15に基づき、令和8年度からの学則変更について、総則ほか、日本大学学則における編入学・大学院入学資格の改正に合わせ、学校教育法等の改正による専修学校の「特定専門課程」等に関する短期大学部専攻科の入学資格を改正する。また、日本大学学則における変更と同様に、休学期間を修業年限に算入しないことの追記や、休学・留学期間に係る文言を修業年限・在学年限に統一するなどの整理を行うこと、また、附則においては、在学年限が満了した学生に係る規定を削除するほか、ビジネス教養学科及び食物栄養学科の収容定員の経過措置期間が満了したことに伴う記載の削除等を行うために学則変更することについて説明があり、審議の結果、全会一致で原案どおり決定した。(反対者なし)

16 日本大学通信教育部学則(総則等)の一部変更に関する件

学務部長から、資料16に基づき、令和8年度からの学則変更について、日本大学学則における変更と同様に、休学期間を修業年限に算入しない旨を追記するほか、休学・留学期間に係る文言を「修業年限」や「在学年限」に統一するなどの整理を行うために学則変更することについて説明があり、審議の結果、全会一致で原案どおり決定した。(反対者なし)

17 日本大学医学部附属看護専門学校学則の一部変更に関する件

学務部長から、資料17に基づき、令和8年度からの学則変更について、医学部の再開発プロジェクトに伴い校舎位置が変更となるため改正すること、また、休学の規定について、日本大学学則の表現内容及び規定の考え方に対応するため学則変更を行うことについて説明があり、審議の結果、全会一致で原案どおり決定した。(反対者なし)

以 上